

○第1次-1の学習活動

【ねらい】

- ・男女共同参画社会の課題について理解を深める。

【育てたい資質・能力】

◎知識的側面（男女共同参画の現状と課題についての知識理解）

【展開（1時間）】

学習活動	●指導上の留意点 ☆人権教育上の配慮 ◎人権教育に視点をあてた評価の規準
<p>① 男女共同参画社会の意味について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 男性も女性も、意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる社会 </div> <p>② 日本の男女共同参画の現状について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー・ギャップ指数について、日本が世界で146か国中何位かを予想する。 ・「経済」「教育」「健康」「政治」の4分野のデータの特徴について考える。 <p>③ 女性の社会進出をさまたげる原因について、資料①～③から読み取れることをグループで考え、ワークシート1に記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の労働力率は、結婚・出産期にあたる年代に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇する。 	<p>●男女共同参画という言葉を知っているか、またその意味について問う。</p> <p>●思いついたことを発表させた後、男女共同参画の意味を説明する。</p> <p>●ジェンダー・ギャップ指数について説明し、日本の順位を予想させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「経済」「教育」「健康」「政治」の4つの分野のデータから作成された男女格差を表す指数であること。 <p>●資料A「ジェンダー・ギャップ指数（2022）上位国及び主な国の順位」及び資料B「各分野における日本のジェンダー・ギャップ指数（2022）」を提示する。</p> <p>●「教育」の分野では1位にも関わらず、総合的には先進国の中では最も低いレベルであることに気付かせる。</p> <p>●「経済」「政治」の分野が低いことに気付かせ、日本の女性の社会進出が遅れていることをおさえる。</p> <p>●ワークシート1の資料①～③を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料①「年齢階級別労働力率の推移」 ・資料②「6歳未満の子供を持つ夫婦の家事・育児関連時間」 ・資料③「「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対する意識」

・「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方が一定数いる。

・日本では、夫より妻の方が家事・育児を担っている。

等

⑤ グループで考えたことを発表する。

⑥ SDGs（持続可能な開発目標）においても、「男女共同参画」は世界共通の重要なテーマであることを知る。



⑥ 本時の学習を振り返って、感想を書く。

☆学級の話し合いのルールを意識させ、安心して話し合いができる雰囲気を作る。

学級の話し合いルール

- ① いっぱい話す。
- ② 自分の意見を大切にする。
- ③ 適当にせず自分で考える。
- ④ マイナス意見を言わない。
- ⑤ 他の人の意見を聞くときは、否定から入らない。

●生徒の発表をもとに、男女共同参画社会の現状と課題をまとめる。

●家事・育児と仕事の両立に向け、働き方に関する制度の整備や、産休・育休制度に関すること等の課題等について補足する。

●SDGs のロゴを提示し、17の目標の一つに「5. ジェンダー平等」がかかげられ、女性の社会進出が目標とされていることを説明する。

◎男女共同参画社会の現状と課題について理解をしている。【知識】

○第1次-2の学習活動

【ねらい】

- ・性別にとらわれない職業選択について考える。

【育てたい資質・能力】

- ◎価値的・態度的側面（多様性に対する開かれた心と肯定的評価）

【展開（1時間）】

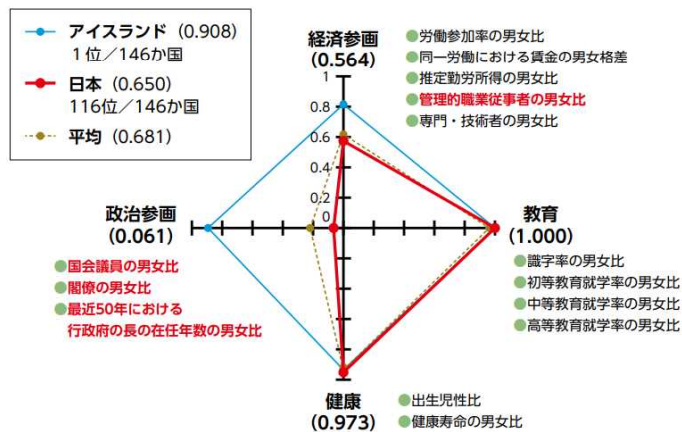
学習活動	●指導上の留意点 ☆人権教育上の配慮 ◎人権教育に視点をあてた評価の規準
① ワークシート2に示した職業について、女性、男性どちらのイメージが強いかを発表する。 ② 自分の個性に合わせて仕事を選び活躍している方々の動画を視聴し、ワークシート2に感じたことや考えたことを書く。 「自由な未来のつくりかた～性別にとらわれない仕事えらび～」【金沢市公式YouTubeチャンネル City of Kanazawa】 https://www.youtube.com/watch?v=lq6GJRR4Ks8 ③ 感じたことや考えたことを交流する。 ④ 本時の学習を振り返って、ワークシート2に感想を書く。	●ワークシート2に記載のそれぞれの職業に対する性別のイメージを問いかけ、職業に対して、無意識に性別による先入観をもっていることがないかを確認する。 ●各職業を見終えたところで書く時間を確保する。 ☆性別にとらわれない、自分らしい生き方を求めていくことの大切さに気づかせる。 ◎性別にとらわれず、自分らしい今後の生き方を考えようとしている。【価値態度】

名前 ()

資料A ジェンダー・ギャップ指数(2022) 上位国及び主な国の順位

順位	国名	値	前年値	前年からの順位変動
1	アイスランド	0.908	0.892	-
2	フィンランド	0.860	0.861	-
3	ノルウェー	0.845	0.849	-
4	ニュージーランド	0.841	0.840	-
5	スウェーデン	0.822	0.823	-
10	ドイツ	0.801	0.796	11
15	フランス	0.791	0.784	11
22	英国	0.780	0.775	11
25	カナダ	0.772	0.772	11
27	米国	0.769	0.763	13
63	イタリア	0.720	0.721	-
79	タイ	0.709	0.710	-
83	ベトナム	0.705	0.701	14
92	インドネシア	0.697	0.688	19
99	韓国	0.689	0.687	13
102	中国	0.682	0.682	15
115	ブルキナファソ	0.659	0.651	19
116	日本	0.650	0.656	14
117	モルディブ	0.648	0.642	111

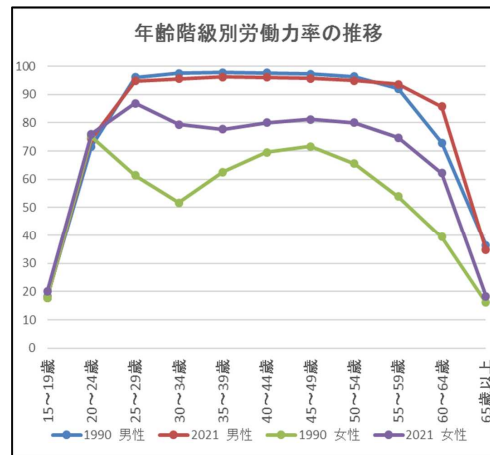
資料B 各分野における日本のジェンダー・ギャップ指数(2022)



(備考) 1. 世界経済フォーラム「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書(2022)」より作成
2. スコアが低い項目は赤字で記載
3. 分野別の順位: 経済(121位)、教育(1位)、健康(63位)、政治(139位)

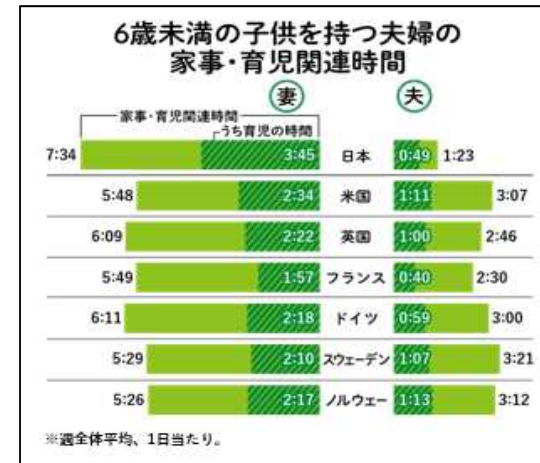
(内閣府 男女共同参画局ホームページ より)

資料①



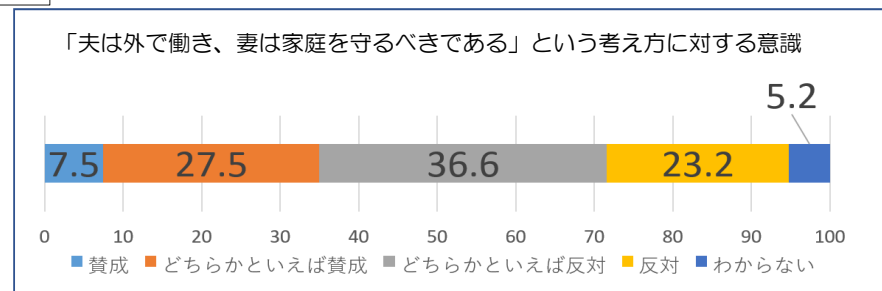
総務省統計局「労働力調査(基本集計)」を基に作成

資料②



(出典) 文部科学省・学校と地域で育む男女共同参画促進事業・中学生用教材(内閣府「男女共同参画白書(令和2年版)」に基づき作成)

資料③



(出典) 内閣府「令和元年度男女共同参画社会に関する調査」

日本の女性の社会進出が遅れている原因を、資料①～③から考えてみよう。

・女性の労働力率は、結婚・出産期にあたる年代に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇する。

・「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方の人が一定数いる。

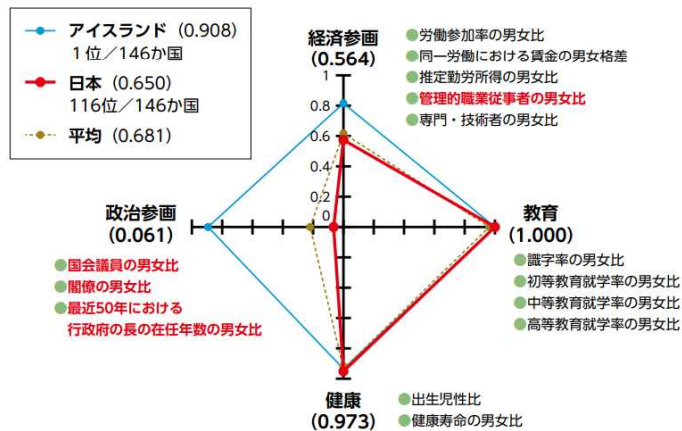
・日本では、夫より妻の方が家事・育児を担っている。

名前 ()

資料A ジェンダー・ギャップ指数(2022) 上位国及び主な国の順位

順位	国名	値	前年値	前年からの順位変動
1	アイスランド	0.908	0.892	-
2	フィンランド	0.860	0.861	-
3	ノルウェー	0.845	0.849	-
4	ニュージーランド	0.841	0.840	-
5	スウェーデン	0.822	0.823	-
10	ドイツ	0.801	0.796	11
15	フランス	0.791	0.784	11
22	英国	0.780	0.775	11
25	カナダ	0.772	0.772	11
27	米国	0.769	0.763	13
63	イタリア	0.720	0.721	-
79	タイ	0.709	0.710	-
83	ベトナム	0.705	0.701	14
92	インドネシア	0.697	0.688	19
99	韓国	0.689	0.687	13
102	中国	0.682	0.682	15
115	ブルキナファソ	0.659	0.651	19
116	日本	0.650	0.656	14
117	モルディブ	0.648	0.642	111

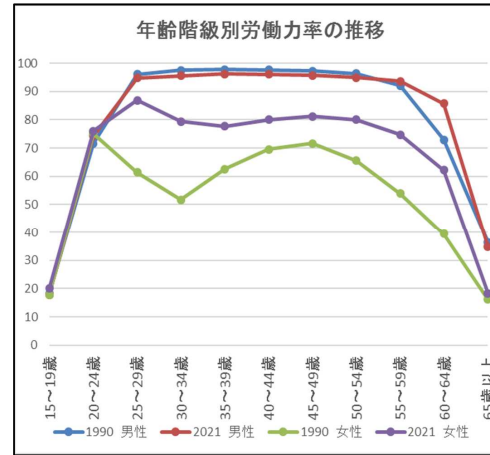
資料B 各分野における日本のジェンダー・ギャップ指数(2022)



(備考) 1. 世界経済フォーラム「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書(2022)」より作成
2. スコアが低い項目は赤字で記載
3. 分野別の順位: 経済(121位)、教育(1位)、健康(63位)、政治(139位)

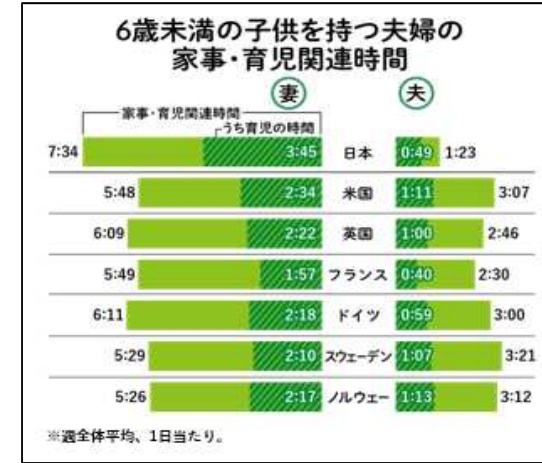
(内閣府 男女共同参画局ホームページ より)

資料①



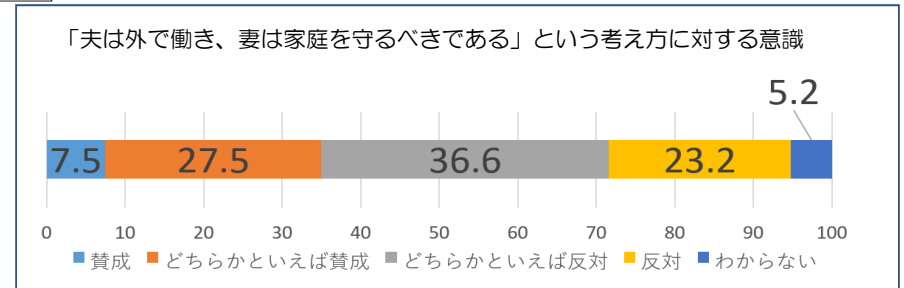
総務省統計局「労働力調査(基本集計)」を基に作成

資料②



(出典) 文部科学省・学校と地域で育む男女共同参画促進事業・中学生用教材(内閣府「男女共同参画白書(令和2年版)」に基づき作成)

資料③



(出典) 内閣府「令和元年度男女共同参画社会に関する調査」

日本の女性の社会進出が遅れている原因を、資料①～③から考えてみよう。

ワークシート2

自由な未来のつくりかた～性別にとらわれない仕事えらび～

名前（ ）

職業	感じたこと・考えたこと
救急隊員	
保育士	
板前	
看護師	
理工系技術者	
フラワーコンシェルジュ	

今日の授業の振り返り
